

マクロ経済とミクロ経済 後編（資産形成コラム）

公的年金におけるマクロ経済スライドを通じて、マクロ経済をなんとなく理解していただけましたでしょうか。合わせて、いわゆる消費者心理などによる日頃の購買を通じて、ミクロ経済をなんとなく理解していただけましたでしょうか。深く理解するためには経済学の専門書を何冊も読まなければ難しいと思いますが、日頃ニュースや新聞で流れている経済ニュースをどちらなのかなあ〜と少々考えながら見たり聞いたり読んだりすることが重要になってくると思います。その中で、個人的にそれはコントロール可能なミクロ経済の情報だな、あるいはコントロール不可能なマクロ経済の情報だな、といった判断が大切だにご理解ください。

ということで、マクロとミクロから皆さんの資産形成に繋げていくための後編ですが、その前にもう一点だけ、前編で取り上げた公的年金のマクロ経済スライドについての補足をさせていただきます。2024 年 10 月現在所謂自民党の裏金問題に端を発して、自民党総裁選が行われ新総裁が決まり、新総理大臣が決まり、そして憲法第 7 条 3 号による衆議院の解散が行われ、衆議院議員選挙が始まりました。選挙になると、公的年金という

か社会保障についての話題が比較的好く議論されるようになりますが、前回お伝えしたように 2024 年度は公的年金は物価上昇・インフレにより増額され、マクロ経済スライドで一部調整（減額）されました。お伝えしたいことは、シニアの方はもちろん若者世代においても将来の関心事、年金額はどうしても増えるのか？についてなんですが、まずは世の中の物価が上昇すること、つまり数年前よりヒシヒシと言うか、ヒリヒリと実感しているデフレーションからの脱却にともなうインフレーションが起こること。次にマクロ経済スライドによる改定を出来るだけ少なくするために、現役世代の賃金が増えることがポイントです。物価が上がり、賃金が増える。全体の賃金が増えることで、現役世代が納める社会保険料が充実する。この健全なインフレが続くことが年金額を増やさせマクロ経済スライドの改定率を限りなく 0 に抑える意外とシンプルな仕組みです。シニア世代の年金や社会保障をより良いものにするためには、その給付を支払う現役世代が豊かになる必要があるということです。現役世代の給料が増えるような政策を国が積極的に行い、公的年金の給付額がインフレと相まって増額され、現役世代も年金世代も消費を増やすことで、日本の GDP の約 6 割も占める個人消費が大きく伸びると同時にその消費材やサービスを提供する企業が利益を上げて税収が増える。これの逆、つまり人口構

成上多数を占めるシニア層の関心事、公的年金の給付額を上げるを短絡的に先にやってしまうと（実際過去 30 年行われてきた施策）、そのぶん現役世代の社会保障負担が大きくなり・・・、結局どうなるかは今の日本の現状が現していると考えます。と、経済の話はどうしても政治に結びついてしまうのでこれぐらいにして、本題に戻ります。

コントロール可能な消費者行動理論の限界効用等（ミクロ経済学の一部）について理解し実践することで、そこから生み出された原資をマクロ経済が大きく影響する、すなわち株式や投資信託や国債等の金融資産に投資していきましょうという話です。ちなみに、ミクロ経済を私や皆さんが個人的にコントロールして影響を与えることが出来るという話ではなく、ミクロ経済の考え方を理解して自身の消費行動をコントロールすることで、運用資金を生み出しましょうという話です。

では、めちゃくちゃ簡単に消費者行動理論をどう日頃の消費行動に繋げるかですが、答えは『無駄な消費・購買はしない』。いたってシンプルです。SDG s が叫ばれて久しい現代において、かつての大量生産・大量消費からの脱却に繋がると思います。時には無駄なようで何かを満たしてくれる買い物や消費もあると思いますが、それを続けていては人生が豊かにな

らないと、毎日自宅で無駄に晩酌している自分自身に言い聞かせています。

反省はこれくらいにして、無駄な消費・購買の例をいくつか列挙しておきますので参考にしてみてください。まず、震災や災害が起こるとついやってしまう、買い溜め。多少のストックは必要ではありますが、震災や災害直後は品薄になり値段も高騰する傾向にあるため、日頃から食品等の管理をしておくことをお勧めします。次に、単なる買い溜め。冷蔵庫や収納棚などが必要以上にパンパンになっていませんか？在庫がないと不安と感じる方も多いと思いますが、今の1~2割でも減らすことで、スペースにも余裕が生まれますし、そこに使っているお金も投資に回すことが可能になります。合わせて、特売やセールだから買っておこうも、比較的無駄な買い溜めになると思いますので、ちょっと立ち止まった方が良いと思います。もっと身軽な生活でも良いのかなあ〜と個人的に思います。さらに、見栄のための購買。これは無意識にやっけてしまっている傾向がある消費行動です。特に多いのが衣料品や車。良いものを大切に長く愛用するのであればとても良いことだと思います。一方、単なる対外的な見栄のための消費で次から次に新しく高額なものを購入していくことは、金額的にも大きいため、将来の資産形成に大きく影響してきます。最後に、つい買ってしまふコンビニのカフェラテ、所謂ラテ・マネー。私もほぼ毎日のよう

にコンビニエンスストアに寄ってしまいますが、何となく立ち寄ってしまう時には何故かコーヒーやカフェラテなどを購入してしまいます。ATMを利用したり、郵便物を投函するなどの目的を持って訪れる時でさえ、つつい何か購入してしまいます。しかもほぼ毎日そのような消費行動を繰り返している訳なので、月単位・年単位に換算するとそれなりの金額になってしまいます。

以上のような衝動的で冷静に考えると無駄であり、購入時期においても決してお得でない消費をコントロールし、適切な量以上を購入したとしても満足感は変わらないと言うミクロ経済の考え方を理解し、そこに費やしていた原資を経済成長率や景気動向指数等のマクロ経済に大きく左右される株式や投資信託、為替や不動産や国債などの資産形成商品に投じていくことで、経済的に余裕のある人生を送れるのではないかと考えます。元々あまり意味を見出していない無駄な消費のための支出だった金額なので、少しリスク性の金融商品に投資しても心理的には問題ないと納得しやすいと思います。また、所謂節約とは違うと考えてください。節約するのではなく無駄を無くすという感覚で、必要なものにはきちんとお金をかけていき、さらに運用で生み出したお金はより人生を豊かにする消費に使

っていく。マクロ経済を有効に使ってください。

最後に、日本人の金融リテラシーはあまり高くないとよく聞きますが、もっと純粹に経済の力・金融の力を信じてみても良いのではないかと、個人的には思います。単なるニュースや新聞の情報を小難しく評論家のように語るのではなく、信じて行動した結果、身についた知識や経験こそが金融リテラシーそのものだと思いますし、私自身も日々実践実感反芻しています。皆さんの行動を後押し出来るような存在でいられたら幸いです。

ソニー生命保険(株) 大分支社

〒 870-0029 大分市高砂町 2-50

オアシスひろば 21 9 階

TEL 097-532-9200

ライフプランナー 山田新悟